

中国国家建設高水準大学
公費派遣研究生受入制度募集要項
＜2026 年 9 月/2027 年 4 月入学者用＞

早稲田大学

I. 募集課程・募集研究科

【募集課程】

(1) 博士後期課程 <受入期間:36 ヶ月(3 年間)>

(2) 外国人特別研修生 <受入期間:6 ヶ月または 12 ヶ月(半年または 1 年間)>

※外国人特別研修生は早稲田大学の学位は取得できません。

【募集研究科】

(1) 国際アドミッションズ・オフィスが窓口となり、出願を受け付ける研究科

- | | | |
|-----------|------------|-----------------|
| ・政治学研究科 | ・経済学研究科 | ・法学研究科 |
| ・文学研究科 | ・基幹理工学研究科 | ・創造理工学研究科 |
| ・先進理工学研究科 | ・教育学研究科 | ・人間科学研究科 |
| ・社会科学研究科 | ・スポーツ科学研究科 | ・国際コミュニケーション研究科 |

(2) 直接出願を受け付ける研究科

- ・アジア太平洋研究科 ・情報生産システム研究科 ・環境・エネルギー研究科

【募集人員】

全学で年間最大 60 名程度

II. 出願資格

出願者は、それぞれの課程ごとに(1)と(2)の両方に該当していなければなりません。

【博士後期課程】

(1) 中国国家留学基金管理委员会の国家建設高水準大学公費派遣研究生プログラムへの申請資格を有し(※)、所定の手続により所属大学・その他機関等から推薦され、国家建設高水準大学公費派遣研究生プログラムの「与日本早稲田大学合作奨学金」に奨学金申請を行う者。

(2) 以下のいずれかに該当する者

a. 中国の大学において修士もしくは修士(専門職)の学位またはこれに相当する学位を得た者。

b. 中国の大学の修士課程に在籍し、2026 年 9 月入学の場合は 2026 年 9 月 20 日までに、2027 年 4 月入学の場合は 2027 年 3 月 31 日までに修士の学位を取得見込の者。中国の大学の一貫制博士課程(博士前期課程と博士後期課程の区別がない課程)に在籍する場合は、早稲田大学大学院に入学するまでに所属大学大学院に 2 年以上在籍し、修士課程修了と同等の学力があると認められた者。

【外国人特別研修生】

(1) 中国国家留学基金管理委员会の国家建設高水準大学公費派遣研究生プログラムへの申請資格を有し(※)、所定の手続により所属大学・その他機関等から推薦され、国家建設高水準大学公費派遣研究生プログラムの「与日本早稲田大学合作奨学金」に奨学金申請を行う者。

(2) 中国の大学の博士後期課程に在籍する者。中国の大学の一貫制博士課程(博士前期課程と博士後期課程の区別がない課程)に在籍する場合は、早稲田大学大学院に入学するまでに所属大学大学院に 2 年以上在籍し、修士課程修了と同等の学力があると認められた者。

※国家建設高水準大学公費派遣研究生プログラムへの申請資格については、必ず本学出願前までに中国国家留学基金管理委员会の Web サイト等を自身で確認してください。また日本国内に居住している方は、在日本中国大使館までお問い合わせください。

Ⅲ. 出願

【注意】

- 早稲田大学の教員にコンタクトを取って事前に受入内諾書を得た場合でも、以下の出願期間に必ず出願を行い、選考に合格する必要があります。以下の選考過程を経ていない場合、たとえ教員より受入内諾書を得ていても、奨学金の受給資格は無く、早稲田大学に入学することはできないので注意してください。
- 本入試制度内における複数研究科への併願はできません。
- 本学の博士後期課程 1 年に在籍する者の申請については、留学センターへご相談ください。
留学センター問い合わせ先 TEL: 03-3203-9806 E-mail: in-cie@list.waseda.jp

(1) 出願期間

① 国際アドミッションズ・オフィスが窓口となり、出願を受け付ける研究科

オンライン申請と郵送による出願書類提出が必要となります。手続きが1つでも欠けた場合、出願不受理となりますので、ご注意ください。※手続き期間は日本時間に準じます。

<オンライン申請期間>

2025 年 10 月 20 日(月) 10:00～2025 年 11 月 14 日(金) 17:00(日本時間)

<願書書類郵送受付期間>

2025 年 11 月 4 日(火)～2025 年 11 月 14 日(金)(日本時間)【国内・国外ともに締切日必着】

※所定の締切日を過ぎて到着した出願書類は受理できません。

② 直接出願を受け付ける研究科

研究科により期間が異なります。【別表】各研究科の出願に関する詳細を参照してください。

(2) 出願方法

● 国際アドミッションズ・オフィスが窓口となり、出願を受け付ける研究科

① 志願票の提出(オンライン申請)

下記 URL より申請フォームにアクセスし、必要情報を提出してください。

【申請フォーム】

<https://my.waseda.jp/application/noauth/application-detail-noauth?param=0x0SCVhUaMyDAXgzOW4B8w>

<注意>

※志願票にはカラー写真(証明写真)のアップロードが必要です。必ず事前に縦 4cm x 横 3cm (jpg または jpeg) のデータを用意してください。

※申請フォームは一時保存ができないため、入力開始する前に一旦全ての必要事項を確認した上で準備を進めてください。一定時間操作がないと自動的にセッションアウトとなりますのでご注意ください。

※申請フォームを複数回申請した場合は、最後に入力された情報のみが有効となります。

② 出願書類の提出(郵送)

「Ⅲ. 出願 (3) 出願書類」と【別表】各研究科の出願に関する詳細に書かれている各研究科の要件を参照のうえ、宅配業者を利用して下記の宛先まで送付してください。

所定フォームは入学センターウェブサイトよりダウンロードしてください。窓口での直接受付は一切行いません。

〒169-8050

東京都新宿区西早稲田 1-6-1

早稲田大学 入学センター 国際アドミッションズ・オフィス

「中国国家建設高水準大学公費派遣研究生受入制度」係

TEL: +81-3-3204-9073

●直接出願を受け付ける研究科

【別表】各研究科の出願に関する詳細を参照し、各研究科の定めた出願書類を各研究科が指定する宛先に送付してください。

(3)出願書類

①国際アドミッションズ・オフィスが窓口となり、出願を受け付ける研究科

1)学位取得証明書（取得者のみ）

- ・CHSI(中国高等教育学生信息网)が発行する修士課程の英文の「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate」を CSSD(旧 CHESICC)から国際アドミッションズ・オフィス(admission@list.waseda.jp)へメールで直送されるよう手配してください。
- ・詳細については CSSD の Web サイト(<https://www.chsi.com.cn/en/pvr/>)をご確認ください。
- ・必ず出願期間締切日までに本学に届くよう、余裕を持って準備してください。
- ・CSSD から直接メールで本学に届いたもののみ有効とします。
- ・出願時点で学位取得見込の方は、入学までに当該証明書の提出が必要です。
- ・香港およびマカオの大学の修士課程を修了した方は、当該の大学が発行する、日本語または英語で書かれた学位取得証明書を提出してください。

2)在学証明書（該当者のみ）

- ・出願時に中国の教育機関に在籍中の方は、CHSI が発行する、英文の「Online Verification Report of Student Record」を CSSD から国際アドミッションズ・オフィス(admission@list.waseda.jp)へメールで直送されるよう手配してください。
- ・詳細については CSSD の Web サイト(<https://www.chsi.com.cn/en/pvr/>)をご確認ください。
- ・香港およびマカオの大学に在籍中の方は、当該大学が発行する、日本語または英語で書かれた在学証明書を提出してください。

3)成績証明書（原本、全員）

- ・成績証明書は、学部と修士課程の全学期の成績が記載されたものを提出してください。
- ・博士後期課程在籍中の方は博士後期課程の成績も提出してください。
- ・証明書が複数ページに渡る場合には、全てのページに学校印が必要です。
- ・証明書は日本語または英語で書かれたものを提出してください。証明書が中国語でしか発行できない場合は、必ず翻訳文(英語または日本語)を作成し、中国国内にある各地方の公証処等の公的機関で翻訳公証印を受け、**翻訳原本と成績証明書原本**を一緒に提出してください。
- ・CHSI が発行する「Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript」を「成績証明書」として提出することを推奨します。

4)研究科が独自に求める出願書類（全員）

- ・志望する研究科・課程によって提出が求められる書類があります。(例 学術論文、研究計画書等) 必要書類の詳細は、【別表】各研究科の出願に関する詳細を参照してください。
- ・必ず志願者本人が作成してください※。
- ※志望動機やエッセイ、研究計画書等は、志望する研究科に自分自身について説明する機会となりますので、ご自身で作成してください。生成 AI を使用してこれらの書類を作成し、自分で書いたものとして提出した場合、不正行為とみなされる可能性や、選考上の評価に影響を及ぼす可能性があります。

5)語学能力に関する証明書（該当者のみ）

- ・志望する研究科・課程・コースにより条件が異なるため、【別表】各研究科の出願に関する詳細を参照してください。

6)推薦状（所定用紙・原本、全員）

- ・推薦状は所定用紙の使用を推奨しますが、所定用紙以外の推薦状でも出願は可能です。
- ・推薦状は必ず**厳封されたものを1部**提出してください。厳封されていないものは原則無効とします。
- ・推薦状は日本語または英語で作成してください。

7) パスポートのコピー（コピー、全員）

- ・顔写真のページのみ
- ・パスポートを持っていない場合は、政府発行の顔写真入り身分証（表・裏両面）のコピーを提出してください。

8) 出願書類チェックリスト（所定用紙、全員）

9) 出願書類提出用宛名ラベル（所定用紙、該当者のみ）

- ・日本国内から出願される方は、**本ラベルを封筒に貼り付けて書留・簡易書留等の履歴が取れる方法で**出願書類を送付してください。
- ・日本国外から出願される方は、本ラベル記載の住所を EMS 等の国際郵便用のラベルに記載し、**国際アドミッションズ・オフィスまで送付してください。**

②直接出願を受け付ける研究科

【別表】各研究科の出願に関する詳細を参照のうえ、志望する研究科の指定する出願書類を提出してください。

(4) 入学検定料

免除とします。

(5) 出願上の注意

- ① 出願の際に本学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学試験の結果を無効とすることがあります。なお、その場合も提出された書類・資料は返還しません。
- ② 出願書類に不備や不足書類があった場合は、出願を受理できないことがあるので十分に注意してください。また早稲田大学から連絡があった時は速やかにその指示に従ってください。
- ③ 一度提出した出願書類は原則として返還できません。再発行が不可能であると本学が判断したもののみ書類の返還を行うこととします。返還を希望する場合は「提出書類返還依頼書」に再発行ができない書類と、その理由を明記し、他の出願書類と一緒に送付してください。なお公証書、成績証明書、推薦状に関しては、原本の返還は一切行ないません。
- ④ 受験生への連絡は、志願票に記載された現住所または E-mail アドレス宛に行います。出願後に志願票に書かれている現住所・電話番号・E-mail アドレス等を変更した場合は、すぐに admission@list.waseda.jp までご連絡ください。変更が原因で早稲田大学からの連絡が受験生に届かなかったとしても、早稲田大学は一切責任を負いません。
- ⑤ 身体機能の障がいや疾病等により、受験・就学に際して配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、志望する研究科までお問合せください。また、大きな病気やけがのため、受験に支障をきたす恐れがある場合、あるいは出願後にそのような状態になった場合でも、速やかにお問い合わせください。

IV. 選考

(1) 選考方法

① **国際アドミッションズ・オフィスが窓口となり、出願を受け付ける研究科**

第一次選考（書類審査）と第二次選考（面接試験）を実施します。

※一部の研究科（もしくは募集課程）は、第一次選考（書類審査）のみで合否判定を行います。
詳細は、【別表】を参照してください。

② **直接出願を受け付ける研究科**

志望する研究科・課程により選考方法は異なりますので、【別表】各研究科の出願に関する詳細を参照してください。

(2)選考日程

①国際アドミッションズ・オフィスが窓口となり、出願を受け付ける研究科

■ 第一次選考(書類審査)結果発表

2025 年 12 月下旬頃に志願票へ記載された現住所宛に郵送、または E-mail アドレス宛にメールで通知します。

※一部研究科・課程は、2026 年 1 月中に結果発表を行います。詳細は、【別表】を参照してください。

■ 第二次選考(面接試験)

Web 会議システム(Zoom)を利用した面接試験により選考を行います。

詳細は、第一次選考(書類審査)結果発表時または、志望する研究科・課程が定める日程でお知らせします。詳細は、【別表】を参照してください。

- ・Web 会議システム(以下、Zoom)を使用して実施します。試験当日に本学へ来校する必要はありません。
- ・集合時間・面接開始時間などの詳細は、1 次試験合格者にのみ、出願時に入力された E-mail アドレス宛にお知らせします。
- ・Zoom の利用にあたっては志願者自身に利用設備環境の準備を行っていただきます。必ず以下注意事項に掲げる環境が確保できることを確認してください。また、Zoom の利用にあたって生ずる必要経費は志願者の自己負担とします。
- ・本学は試験中のデータを選考に活用するため、録音、録画、撮影のいずれかを行うことがあります。
- ・本学以外の者による録音、録画、撮影は禁止します。

■ 注意事項(事前に志願者へ求める機器環境など)

① インターネット接続環境

安定したインターネット回線をご用意ください。回線の安定性の観点からケーブルを使用した有線 LAN システムの利用をお奨めします。

② 音声、映像機材

Web カメラ、マイク、イヤホン、スピーカー等を準備してください。パソコン等に内蔵されているものを利用していただいてもかまいません。なお、パソコンの利用を推奨しますが、スマートフォンやタブレット端末を利用してもかまいません。事前に Zoom のテストミーティング(<http://zoom.us/test>)に参加し、音声・映像の確認をしてください。

③ 利用場所・面接時間

上記の環境が整えられ、周りに第三者のいない静寂な環境を保つことのできる場所を確保してください。試験開始時間は本学にて指定いたします。個別のご要望には応じかねますので、予めご了承ください。面接時間については、研究科からの案内をご確認ください。

④ 当日のトラブル対応、注意事項

接続が切れてしまう等の不測の事態により試験の実施が困難と判断される場合、入学志願票に記載の連絡先に本学から電話やメールにて連絡します。連絡内容を確認し、その指示に従ってください。連絡がつかない場合や指示に従わない場合は、当該志願者を試験放棄とみなすことがあります。その場合においても、入学検定料は返還いたしません。試験中に離席した場合、試験放棄とみなすことがあります。

以下の注意事項を守らない場合は、不正行為とみなすことがあります。手元に置けるものは受験票、筆記用具、無地のハンカチ、箱や袋から出したティッシュペーパーのみです。

⑤ Zoom に関する注意事項

- ・Zoom の映像と音声は常に「オン」にし、常に画面に顔全体が映るようにしてください。
- ・試験で使用している機器以外の通信機器は使用しないでください。また、試験で使用している機器で情報を検索したり、Zoom 以外のアプリケーションやツールを使用したりしないでください。

- ・Zoom のバーチャル背景機能は使用しないでください。
- ・周りに第三者がいないことの確認のために、試験の前後及び試験中、カメラを動かして部屋全体を映すことを求めることがあります。その場合は指示に従ってください。
- ・試験中はマスクを外してください。
- ・Zoom の操作方法は以下のサイトをご確認ください。
 - Zoom サポート: <https://support.zoom.us/hc/ja>

②直接出願を受け付ける研究科

志望する研究科・課程により選考日程は異なりますので、【別表】各研究科の出願に関する詳細を参照してください。

(3)面接試験受験にあたっての注意事項

「Ⅶ. 早稲田大学入学試験受験に際しての注意事項」を参照してください。

V. 受入内諾書発送予定日と受入内諾書受領後の手続き

(1) 受入内諾書発送予定日

- ①国際アドミッションズ・オフィスが窓口となり、出願を受け付ける研究科
第二次選考（面接試験）合格者には本学より、2026 年 2 月上旬に受入内諾書を郵送または電子メールにて送ります。書類を受領後、所定の手続きを行ってください。
- ②直接出願を受け付ける研究科
発送予定日は研究科により異なります。志望する研究科の「募集要項」を参照してください。

(2) 受入内諾書受領後の手続き【重要】

※下表の内容は、全研究科共通の手続きになります。

※在留資格に関する手続きは、「Ⅸ. 在留資格」を参照してください。

日程	中国国家留学基金 管理委員会 (CSC)	志願者	早稲田大学
2026 年 3 月中旬 ～ 3 月下旬 (予定)		(1) 志願者は早稲田大学から届く「受入内諾書」を自身で所属大学に提出し、かつ中国国家留学基金管理委員会による国家建設高水準大学公費派遣研究生プログラム「 <u>与日本早稲田大学合作奨学金</u> 」へのオンライン申し込みを完了する。	
2026 年 6 月 (予定)	(2) 中国国家留学基金管理委員会が「 <u>与日本早稲田大学合作奨学金</u> 」受給者を正式に決定する。	(3) 国家建設高水準大学公費派遣研究生プログラム「 <u>与日本早稲田大学合作奨学金</u> 」受給者に採用された志願者は、中国国家留学基金管理委員会が発行する「奨学金給付証明書(*)」を早稲田大学に提出する。 (*)奨学金給付証明書は英語版の証明書と「 <u>与日本早稲田大学合作奨学金</u> 」と明記された中国語版の両証明書を提出する。	(4) 早稲田大学が「 <u>与日本早稲田大学合作奨学金</u> 」受給者の正式決定をもとに「最終合格者」を決定し、入学手続きに関する通知を行う。

VI. 学費・奨学金等の取り扱い

- ・中国国家留学基金管理委員会による国家建設高水準大学公費派遣研究生プログラムの「与日本早稲田大学合作奨学金」受給者に採用されなかった場合、早稲田大学の受入内諾を取り消します。
- ・当制度で採用された学生に対し、早稲田大学在籍中（博士後期課程は最長 36 ヶ月、外国人特別研修生最長 6 ヶ月または 12 ヶ月）の入学金、学費、諸会費は免除とします。ただし基本の修了要件にはない、任意で受講する自由科目（日本語科目等）に関しては各自で費用をご負担ください。
- ・早稲田大学のその他の学内奨学金や国費等授業料減免を含む学外奨学金との併給は不可とします。

- ・学生の生活費、往復航空券は中国国家留学基金管理委員会により学生本人に支給されます。
- ・早稲田大学は合格者に対し、日本における宿舍の情報提供を行います。入寮希望者は各自で宿舍を手配し、賃料を各自でご負担ください。
- ・当制度は、中国国家留学基金管理委員会の規定により早稲田大学在籍中の在留資格が「留学」である者に限ります。

VII. 早稲田大学入学試験受験に際しての注意事項

本学では、入学試験を厳正に実施し、全ての受験者が公平・公正に受験できるよう、以下の注意事項を定めています。本学試験の受験に際しては、この注意事項を熟読のうえ、真剣な態度で試験に臨んでください。

(1)出願の際に本学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為となることがあります。

(2)次のことをすると不正行為となることがあります。

- カンニングをすること(試験時間中にカンニングペーパー・参考書等を隠し持つ・使用する、他の人から答えを教わる、身体、物品、机などにメモをする、メモを見るなど)。
- 試験時間中に、携帯電話等を身に付けること、使用すること。
- 試験時間中に、携帯電話等や時計の音(着信・アラーム・振動音など)を鳴らすこと。
- 志願者以外のものが志願者本人になりすまして試験を受けること。
- その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

(3)不正行為の疑いがある場合、次のような対応をとることがあります。これらに応じない場合、不正行為を自認したものとみなします。

本学に提出された書類・資料・論文および提供された情報等(「本提出書類等」といいます。)につき、その真正性等について、本学が発行元・提供元および論文審査機関等に対して、本提出書類等を提供して問合せをすること。志願者は本提出書類等を本学に提出または提供したことをもって、本学がこの問合せを行うことに同意したものとします。

(4)不正行為と認められた場合、次のような対応をとることがあります。

- 当該年度における本学の全ての入学試験の受験を認めないこと。
- 当該年度における本学の全ての入学試験の結果を無効とすること。

■ 不可抗力による事故等について

台風、地震、洪水、津波等の自然災害または火災、停電、その他不可抗力による事故等が発生した場合、試験開始時刻および終了時刻の繰下げ、試験の延期等の対応措置をとることがあります。ただし、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については一切責任を負いません。

VII.在留資格

中国国家建設高水準大学公費派遣研究生として早稲田大学に在学するためには、在留資格「留学」を取得しなければなりません。既に「留学」以外の長期滞在可能な日本の在留資格をお持ちの場合は、在留資格「留学」への変更手続が必要です。その場合は、早稲田大学入学のため入国後、直ちに早稲田大学留学センターにご連絡ください。

(留学センター問い合わせ先 : TEL:03-3203-9806 E-mail: cie-zairyu@list.waseda.jp)

在留資格「留学」の取得までの流れ

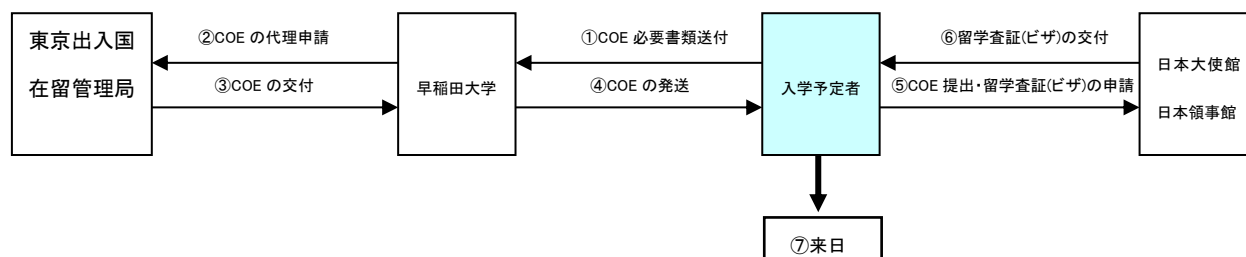
日本に長期滞在できる有効な在留資格を持っていない場合、取得のために以下の手続が必要です。また、早稲田大学では、日本国外在住の入学予定者の方のために、東京出入国在留管理局に留学のための「在留資格認定証明書」(COE)の代理申請を行います。

- 国際アドミッションズ・オフィスが窓口となって出願を受け付ける研究科へ出願予定の方は下記を参照してください。国際アドミッションズ・オフィスが窓口にならず、直接出願を受け付ける研究科へ出願予定の方は、研究科によって「在留資格認定証明書」の代理申請の手順とスケジュールが異なります。志望する研究科の募集要項を参照のうえ、所定の手続きを行ってください。

代理申請

- ①入学予定者は、「在留資格認定証明書」の申請に必要な書類等を早稲田大学に送付する。
※申請に必要な書類は合格者に国際アドミッションズ・オフィスから送付。
- ②早稲田大学は、東京出入国在留管理局に「在留資格認定証明書」の代理交付申請手続をする。
- ③早稲田大学が、東京出入国在留管理局から「在留資格認定証明書」の交付を受ける。
- ④早稲田大学が、「在留資格認定証明書」を入学予定者に発送する。
- ⑤入学予定者は、自国の日本大使館/領事館に「留学」査証(ビザ)の申請をする。
- ⑥入学予定者は、「留学」査証(ビザ)の交付を受ける。
- ⑦入学予定者は、上陸地(空港)で上陸審査を受け、在留資格「留学」を取得して入国する。

※COE:在留資格認定証明書



中国の国籍を有する志願者は、在留資格認定証明書(COE)の申請時に、通常の申請書類に加えて、結核を発病していないことを証明する「結核非発病証明書」の提出を求められます。国によって適用開始時期が異なりますので、対象国の国籍を有する方は、以下の資料で詳細を必ずご確認ください。

<https://www.waseda.jp/inst/cie/news/40765>

①～④「在留資格認定証明書」代理申請の予定日程

2026年9月入学予定者	月	2027年4月入学予定者
① 入学予定者から早稲田大学に申請書類送付	6月	
② 早稲田大学が東京出入国在留管理局に代理申請	7月	
③ COEの交付	8月	
④ 早稲田大学から入学予定者に発送	9月	
	10月	
	11月	① 入学予定者から早稲田大学に申請書類送付
	12月	② 早稲田大学が東京出入国在留管理局に代理申請
	1月	
	2月	③ COEの交付 ④ 早稲田大学から入学予定者に発送
	3月	

⑤、⑥「留学」査証の申請・取得

「在留資格認定証明書」の交付を受けた後、日本大使館/領事館に、各大使館所定の申請書類、パスポートおよび「在留資格認定証明書」により「留学」査証(ビザ)を申請してください。

「留学」査証(ビザ)申請に必要な書類は、申請予定の大使館/領事館に直接問い合わせてください。

なお、入学許可書は、在留資格認定証明書と共に早稲田大学から送付します。

⑦在留資格「留学」の取得

「在留資格認定証明書」と「留学」査証(ビザ)を持って来日し、在留資格「留学」を取得してください。

在留資格認定証明書発行日から3か月以内に来日してください。

XIV.その他特記事項

○ 個人情報の取り扱いについて

本学では、志願時に収集した個人情報(住所・氏名・生年月日等)を、入学試験実施、合格者発表、入学手続およびこれに附随する業務のために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行います。また、上記業務の全部又は一部を委託する場合があります。その場合、委託先に対し、契約等により、必要かつ適切な管理を義務付けます。本学に提出された書類・資料・論文および提供された情報等(「本提出書類等」といいます。)につき、その真正性等について、本学が発行元・提供元および論文審査機関等に対して、本提出書類等を提供して問合せをすることがあります。志願者は本提出書類等を本学に提出または提供したことをもって、本学がこの問合せを行うことに同意したものとします。これらの他、個人が特定されないように統計処理した個人情報を、本学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用します。

○性別情報の収集について

本学では、入学試験の円滑な実施と入学手続の必要上、合理的理由があると判断される必要最小限に留め、戸籍またはパスポート等の公的書類上の性別情報を収集しています。パスポート等の公的書類上の性別が男女のいずれでもない方は、出願に先立ち、【本入学試験要項巻末のお問い合わせ先】までご連絡ください。性別情報が合否に影響を及ぼすことは一切ありません。

<https://www.waseda.jp/inst/diversity/support/sexual-minority/>

早稲田大学 入学センター
国際アドミッションズ・オフィス
「中国国家建設高水準大学公費派遣研究生受入制度」係
〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1
TEL: +81-3-3204-9073
Inquiry Form: <https://forms.office.com/r/vU64PnJkTZ>
(日本語、英語対応可)



(1) 国際アドミッションズ・オフィス（IAO）が窓口となり、出願を受け付ける研究科

研究科名	博士後期課程	外国人特別研修生
政治学研究科（日本語学位プログラム）	入学時期	2027年4月
	出願期間 （オンライン）	2025年10月20日（月）10:00～11月14日（金）17:00
	出願期間 （書類郵送受付期間）	2025年11月4日（火）～11月14日（金）【国内・国外ともに締切日必着】
	出願前の 教員コンタクト	任意
	選考方法	第一次選考「書類審査」および第二次選考「面接試験」（WEB会議システム等を利用）
		「書類審査」
	出願書類（共通）	「中国国家建設高水準大学公費派遣研究生受入制度募集要項」のP.4～5を参照ください。
出願書類 （研究科別）	<志願理由書> 早稲田大学大学院政治学研究科での研究活動を希望する理由、学位取得後の希望キャリアについてご記入ください。日本語1000字程度で記入すること。 <学術論文> 1部 日本語または英語で作成された修士論文や査読付き学術論文 ※学術論文は、当該論文を審査する機関において審査済であってアクセプト（合格）を得られているもののみが提出書類として認められる ※日本語や英語以外の言語で作成しアクセプトされた学術論文を、その後に日本語または英語に翻訳したものは提出書類として認められない <学術論文の概要書> 1部 日本語8,000字程度 <博士論文の研究計画書> 1部 日本語10,000字程度	
	語学要件 出願時に以下の1または2および4を提出のこと。1、2が入手できない場合には3をもって代えることができる。 1. 日本語能力試験1級またはN1合格証明書（コピー可、有効期限は定めない） 2. 日本留学試験「日本語」で260点以上の成績通知書（コピー可、有効期限は定めない） 3. 教育研究機関が発行する日本語能力証明書（日本語能力試験N1相当以上の実力を有することを証明するもので、機関長ならびに日本語学の大学教員が署名したもの） 4. TOEFL-iBT, TOEIC, IELTSいずれかの英語能力検定試験の公式スコアカードの原本（出願締切日より遡って2年以内に受験したもの）。*TOEIC(IP)は認めない。*オンライン受験は認めない。TOEFL-iBT, IELTSは試験実施団体から政治学研究科へスコア送付の手配をし、スコアカードのコピーと直送手配が完了した旨が確認できる根拠書類（Confirmation of order等）をその他出願書類と一緒に国際アドミッションズオフィス（IAO）へ提出してください。送付先コードは、【TOEFL】D055 【IELTS】Graduate School of Political Science, Waseda Universityを選択してください。TOEICは原本を政治学研究科に提出してください。	

研究科名		博士後期課程	外国人特別研修生
経済学研究科	入学時期	2026年9月または2027年4月	
	出願期間 (オンライン)	2025年10月20日(月) 10:00～11月14日(金) 17:00	
	出願期間 (書類郵送受付期間)	2025年11月4日(火)～11月14日(金) 【国内・国外ともに締切日必着】	
	出願前の 教員コンタクト	不要	
	選考方法	第一次選考「書類審査」および第二次選考「面接試験」(WEB会議システム等を利用)	
	出願書類(共通)	「中国国家建設高水準大学公費派遣研究生受入制度募集要項」のP.4～5を参照ください。	
	出願書類 (研究科別)	<提出内容> (1) 修士論文の概要書(日本語の場合は2,000字程度、英語の場合は1,000words程度で作成すること。参考文献は文字数に含まない) (2) 修士論文(日本語もしくは英語)※ ※以下AまたはBに該当する者は、ジャーナル等に掲載された公開論文(投稿予定も可)等を提出してください。 A 修士課程修了以降に執筆した論文により審査を希望する者。 B 「修士の学位(またはこれに相当する学位)を得た者」のうち、修士課程(専門職学位課程)を修了した(もしくは修了見込の)研究科が定める修了要件に修士論文執筆および合格が含まれていなかった等の理由により修士論文が提出できない者。 (3) 博士論文の研究計画書(日本語の場合は4,000字程度、英語の場合は2,000words程度で作成すること。参考文献は文字数含まない) (4) 修士論文指導教員の推薦書(日本語もしくは英語で作成の上、推薦者本人が指定のメールアドレスへ送ること) <提出方法> 自分で作成した上記(1)～(3)をPDFファイルに変換したもの3点を当研究科指定の専用メールアドレス(gse-adm@list.waseda.jp)へ添付ファイルで送信してください。 添付ファイル名は次のとおりです。 (1) 修士論文概要書…氏名(ローマ字)_CSCoutline.pdf(例:waseda_taro_CSCoutline.pdf) (2) 修士論文…氏名(ローマ字)_CSCthesis.pdf(例:waseda_taro_CSCthesis.pdf) (3) 研究計画書…氏名(ローマ字)_CSCresearchplan.pdf(例:waseda_taro_CSCresearchplan.pdf) (4) 修士論文指導教員の推薦書は、推薦者本人が専用メールアドレス(gse-rec@list.waseda.jp)へ送ること。	
	語学要件	(1)日本語での研究指導希望者の場合 次の①および②を提出のこと。 ①日本語能力証明書：日本語能力試験N1合格の「認定結果および成績に関する証明書」、または日本留学試験の「日本語」科目(「記述」を除く)合計260点以上の成績確認書の原本(出願期間の初日より遡って2年以内に受験したもの)。 *母語が日本語である者は、スコアカードの提出は不要です。なお、日本語が母語話者ではない場合でも、日本に4年以上の滞在歴があり、かつ日本の高等教育機関(大学以上)において日本語による学位を取得した場合も、提出不要です。詳細については経済学研究科事務所(E-mail:gse-adm@list.waseda.jp)までお問い合わせください。 ②英語能力証明書：GRE、GMAT、TOEFL-iBT、TOEIC、IELTSのいずれか1点のスコアカードの原本(出願期間の初日より遡って2年以内に受験したもの)。オンラインテストのスコアは受け付けません。 *ただし、TOEIC(IP)は認めない。*英語能力証明書については、母語が英語である者はスコアカードの提出は不要。なお、英語の母語話者ではない場合でも、英語圏の国に4年以上の滞在歴があり、かつ英語圏の高等教育機関(大学以上)において英語による学位を取得した場合は提出不要です。詳細については経済学研究科事務所(E-mail:gse-adm@list.waseda.jp)までお問い合わせください。 (2)英語での研究指導希望者の場合 英語能力証明書：GRE、GMAT、TOEFL-iBT、TOEIC、IELTSのいずれか1点のスコアカードの原本(出願期間の初日より遡って2年以内に受験したもの)。オンラインテストのスコアは受け付けません。 *ただし、TOEIC(IP)は認めない。*英語能力証明書については、母語が英語である者はスコアカードの提出は不要。なお、英語の母語話者ではない場合でも、英語圏の国に4年以上の滞在歴があり、かつ英語圏の高等教育機関(大学以上)において英語による学位を取得した場合は提出不要です。詳細については経済学研究科事務所(E-mail:gse-adm@list.waseda.jp)までお問い合わせください。 ～(1)(2)共通～ GRE、GMAT、TOEFL-iBT、IELTSは、試験実施団体から直接経済学研究科へスコア送付の手配をし、スコアカードのコピーと直送手配が完了した旨が確認できる根拠書類(Confirmation of order等)をその他出願書類と一緒に国際アドミッションズオフィス(IAO)へ提出してください。 送付先コードは、[GMAT]3TX-L8-06 [GRE]2698 [TOEFL]1577 (Department code:84) [IELTS]Graduate School of Economics, Waseda Universityを選択してください。 TOEICは原本を経済学研究科に提出してください。	

研究科名		博士後期課程	外国人特別研修生
法学研究科	入学時期	2027年4月	2026年9月または2027年4月
	出願期間 (オンライン)	2025年10月20日(月) 10:00 ~ 11月14日(金) 17:00	
	出願期間 (書類郵送受付期間)	2025年11月4日(火) ~ 11月14日(金) 【国内・国外ともに締切日必着】	
	出願前の 教員コンタクト	不要(コンタクトを希望する場合は、法学研究科事務所のEメールアドレス(gradlaw@list.waseda.jp)までメールにてお問い合わせください)	
	選考方法	第一次選考「書類審査」および第二次選考「面接試験」(WEB会議システム等を利用)	研究計画書に基づき希望研究指導担当教員が受入を決定する。
	出願書類(共通)	「中国国家建設高水準大学公費派遣研究生受入制度募集要項」のP.4~5を参照ください。	
	出願書類 (研究科別)	<修士論文(またはこれに相当する論文)> 論文および概要書各3部(日本語で書かれたもの) ※提出論文は出願開始日から遡って2年以内に執筆した論文とし、それ以前に執筆した論文の場合は、補筆して提出してください。 ※「修士論文」および「修士論文概要書」が未完成の場合には、未完成であることを明記した上で、出願時点での原稿を提出してください。 <博士論文の研究計画書> 3部(A4横書きで日本語2,000文字程度、文献や資料を参照した場合は、文末にまとめて記述すること)	
	語学要件	以下のいずれかを提出すること。 ※コピー可。有効期限は定めなし。 ①日本語能力試験(JLPT) 1級もしくはN1合格の「合否結果通知書」 ②日本留学試験(EJU)「日本語」の成績(記述を除く)260点以上の「成績通知書」	
研究科名		博士後期課程	外国人特別研修生
文学研究科	入学時期	2027年4月	2026年9月または2027年4月
	出願期間 (オンライン)	2025年10月20日(月) 10:00 ~ 11月14日(金) 17:00	
	出願期間 (書類郵送受付期間)	2025年11月4日(火) ~ 11月14日(金) 【国内・国外ともに締切日必着】	
	出願前の 教員コンタクト	不要(コンタクトを希望する場合は、文学学術院事務所のEメールアドレス(toyama-adm@list.waseda.jp)までメールにてお問い合わせください)	
	その他	現代文芸コースおよび社会構築論コースには出願できません。	
	選考方法	第一次選考「書類審査」および第二次選考「面接試験」(WEB会議システム等を利用)	
	出願書類(共通)	「中国国家建設高水準大学公費派遣研究生受入制度募集要項」のP.4~5を参照ください。	
	出願書類 (研究科別)	<修士論文> 写し1部 <修士論文の概要書> 3部(日本語12,000字程度) Microsoft Word等による作成可 ※出願時点で修士課程修了見込みの方は、修士論文に相当する論文の写し1部および概要書3部(日本語12,000字程度) Microsoft Word等による作成可)を提出してください。 <修士論文指導教員の所見書> 1部(書式自由・日本語または英語で作成。指導教員の自筆による署名または、捺印のこと) <博士論文の研究計画書> 3部(日本語8,000字程度) Microsoft Word等による作成可	
	語学要件	※以下のいずれかを提出すること(過去のものでも可)。 ①日本語能力試験(JLPT) : N1(または1級)合格の「認定結果及び成績に関する証明書」(原本)および「日本語能力認定書」(コピー) ②日本留学試験(EJU) : 「日本語」科目の合計点(記述を除く)が260点以上の「成績通知書」(EJUオンラインより印刷)および「受験票」コピー ※ただし、以下のコースに出願する場合は日本語能力試験(JLPT)のN2(または2級)合格の「認定結果及び成績に関する証明書」(原本)および「日本語能力認定書」(コピー)、または日本留学試験(EJU)の「日本語」科目の合計点(記述を除く)が220点以上の「成績通知書」(EJUオンラインより印刷)および「受験票」コピーでも出願を認めます。 ・英文学コース、フランス語フランス文学コース、ドイツ語ドイツ文学コース、演劇映像学コース、美術史学コース、東洋史学コース、考古学コース、文化人類学コース、中東・イスラーム研究コース	

研究科名		博士後期課程	外国人特別研修生
基幹理工学研究科 創造理工学研究科 先進理工学研究科	入学時期	2026年9月または2027年4月	
	出願期間 (オンライン)	2025年10月20日(月) 10:00 ~ 11月14日(金) 17:00	
	出願期間 (書類郵送受付期間)	2025年11月4日(火) ~ 11月14日(金) 【国内・国外ともに締切日必着】	
	出願前の 教員コンタクト	以下のURLにある研究指導・指導教員一覧で指導教員の連絡先を確認の上、志願者本人より指導教員へ直接連絡してください。 ・日本語プログラムは https://www.waseda.jp/fsci/admissions_gs/research/ ・英語プログラムは https://www.waseda.jp/fsci/EN/admissions_gs/#anc_4 なお、入学志願票(オンライン申請フォーム)の「章2. 志 望 大 学 院 Desired field of study at graduate school」の設問2-5<指導教員>では、希望する教員名に加え、研究指導・指導教員一覧に記載されているApplication Code(3 letters)を合わせて記載すること。	
	選考方法	書類審査(ただし、専攻および受入教員の要望により電話やEメール等での質疑応答を行う場合があります。)	
	出願書類(共通)	「中国国家建設高水準大学公費派遣研究生受入制度募集要項」のP.4~5を参照ください。	
	出願書類 (研究科別)	<修士論文> 写し1部 <修士論文概要書> 1部 (概要書は日本語8,000字程度または英語2,000語程度、図面等は字数に含めない) ※修士論文が完成していない場合には、修士論文の計画書を提出してください。(日本語8,000字程度または英語2,000語程度、図面等は字数に含めない) <博士論文の研究計画書> 1部 (日本語10,000字程度または英語2,500語程度、図面等は字数に含めない。研究テーマを必ず明記すること。)	
	その他	・機械科学・航空宇宙専攻を志望する方は、中国側指導教員2名からの推薦書を提出してください。 ・材料科学専攻は募集を行いません。 ・共同先端生命医科学専攻は9月募集を行いません。 ・基幹・創造・先進理工学研究科の最終結果発表は、2026年1月中に行います。	
	語学要件	指導教官の要求がなければ、日本語能力試験の成績の提出は不要。 TOEFL iBT、TOEIC L&R、IELTS Academicいずれかの英語能力証明書(スコアカード)を出願期限までに提出してください。 *TOEIC IP/TOEFL iBT Home Edition/TOEFL iBT Paper Edition/IELTS indicatorは不可。 a. スコアカードの原本を提出してください。 b. 出願締切日から遡って2年以内に受験したものを提出してください。 c. 母国語が英語の場合、英語圏の大学を卒業された場合、学位の取得(見込み含む)時に全科目が英語のみで指導されていた場合は当書類の提出は不要です。前者の場合は該当事項を説明するメモ、後者の場合は該当事項を証明する書類を出願書類に同封してください。 TOEFL-iBT、IELTSは、試験実施団体から直接理工学研究科へスコア送付の手配をし、スコアカードのコピーと直送手配が完了した旨が確認できる根拠書類(Confirmation of order等)をその他出願書類と一緒に国際アドミッションズオフィス(IAO)へ提出してください。送付先コードは、【TOEFL】2874(Department code: 99) 【IELTS】Faculty of Science and Engineering, Waseda Universityを選択してください。TOEICは原本を理工学研究科に提出してください。	

研究科名	博士後期課程		外国人特別研修生
教育学研究科	入学時期	2027年4月	2026年9月または2027年4月
	出願期間 (オンライン)	2025年10月20日(月) 10:00 ~ 11月14日(金) 17:00	
	出願期間 (書類郵送受付期間)	2025年11月4日(火) ~ 11月14日(金) 【国内・国外ともに締切日必着】	
	出願前の 教員コンタクト	不要	
	選考方法	第一次選考「書類審査」および第二次選考「面接試験」(WEB会議システム等を利用)	「書類審査」(研究計画書等に基づき希望研究指導担当教員が受入を決定する)
	その他	教育学研究科「外国人特別研修生」の最終結果発表は、2026年1月中に行います。	
	出願書類 (共通)	「中国国家建設高水準大学公費派遣研究生受入制度募集要項」のP.4~5を参照ください。	
	出願書類 (研究科別)	<修士論文> 写し3部 ※原則として日本語または英語とする <修士論文の概要書> 1部 日本語2,000字以内 <博士論文の研究計画書> 1部 日本語5,000字以内 ※修士論文および修士論文概要書が未完成の場合は、未完成であることを明記した上で、出願時点での原稿を提出してください。	
	語学要件	志願する研究指導により、語学要件が以下の通り異なります。各教員が担当する研究指導は、早稲田大学研究者データベースで確認してください。 1. 英語科教育学研究指導、英語科内容学研究指導の志願者は、【要件1】を満たすこと。 2. 数学科教育学研究指導、数学科内容学研究指導の志願者は、【要件1】または【要件2】を満たすこと。 3. それ以外の志願者は、【要件2】を満たすこと。 【要件1】出願締切日から遡って2年以内に実施された ・TOEFL iBT「80点以上」(MyBest®スコアも可) (TOEFL iBT Home Editionは不可) ・IELTS AcademicまたはIELTS for UKVI Academic「6.5点以上」(Computer-delivered IELTSも可) のいずれかのスコアを有している(*) こと。 *ただし、英語を履修言語とするプログラム(EMI)で学士、あるいは修士の学位を取得している場合は例外とする。 【要件2】日本語能力試験1級/N1または日本留学試験「日本語」260点以上のスコアを有していることが必要です(日本留学試験については、出願締切日から遡って2年以内に実施された試験のスコアに限ります)。	志願する研究指導により、語学要件が以下の通り異なります。各教員が担当する研究指導は、早稲田大学研究者データベースで確認してください。 1. 英語科教育学研究指導、英語科内容学研究指導の志願者は、【要件1】を満たすこと。 2. 数学科教育学研究指導、数学科内容学研究指導の志願者は、【要件1】または【要件2】を満たすこと。 3. それ以外の志願者は、【要件2】を満たすこと。 ※ただし、国語科教育学研究指導、国語科内容学研究指導は、日本語能力試験2級またはN2の合格証明または日本留学試験「日本語」の成績証明(220点以上)でも可とする場合がありますので担当教員に直接確認すること。 【要件1】出願締切日から遡って2年以内に実施された ・TOEFL iBT「80点以上」(MyBest®スコアも可) (TOEFL iBT Home Editionは不可) ・IELTS AcademicまたはIELTS for UKVI Academic「6.5点以上」(Computer-delivered IELTSも可) のいずれかのスコアを有している(*) こと。 *ただし、英語を履修言語とするプログラム(EMI)で学士、あるいは修士の学位を取得している場合は例外とする。 【要件2】日本語能力試験1級/N1または日本留学試験「日本語」260点以上のスコアを有していることが必要です(日本留学試験については、出願締切日から遡って2年以内に実施された試験のスコアに限ります)。

研究科名		博士後期課程	外国人特別研修生
人間科学研究科	入学時期	2026年9月または2027年4月	2026年9月または2027年4月
	出願期間 (オンライン)	2025年10月20日(月) 10:00 ~ 11月14日(金) 17:00	
	出願期間 (書類郵送受付期間)	2025年11月4日(火) ~ 11月14日(金) 【国内・国外ともに締切日必着】	
	出願前の 教員コンタクト	出願の際には、自分の希望する研究指導の担当教員と事前に連絡をとり、研究計画等についての相談、及び受験の承諾を得ることが必要です。希望する担当教員名を記入の上、質問または相談の内容を書いて(日本語または英語) admission19@list.waseda.jp メールをお送りください。担当教員より返信を差し上げます。事前の連絡がない場合、受け入れの可能性が低くなる他、出願が受け付けられないことがあります。事前の連絡は、入学後のミスマッチを防ぐためであり、希望する担当教員に正式な受入内諾を求めてはいけません。	
	選考方法	第一次選考「書類審査」および第二次選考「面接試験」(WEB会議システム等を利用)	
	出願書類(共通)	「中国国家建設高水準大学公費派遣研究生受入制度募集要項」のP.4~5を参照ください。	
	出願書類 (研究科別)	<修士論文の概要書> 修士論文の概要書1部(A4横書き、日本語の場合は2,000字程度、英語の場合は1,000語程度で作成すること) <博士論文の研究計画書> 1部(A4横書き、日本語の場合は4,000字程度、英語の場合は2,000語程度で作成すること) ※修士課程修了見込みで「修士論文の概要」が未完成の場合は、「出願までの研究成果(論文など)の概要書」1部(A4横書き、日本語の場合は2,000字程度、英語の場合は1,000語程度で作成すること)を提出すること。 ※必ず前述の「出願前の教員コンタクト」を行うこと。	
	語学要件	以下①~③のいずれかを提出すること。 ①日本語能力試験(JLPT):「認定結果及び成績に関する証明書」(レベル、合否は問わない、有効期限は定めない) ②日本留学試験(EJU):「成績確認書のコピー」(得点は問わない、有効期限は定めない) ③TOEFL iBT、TOEIC L&R、IELTS Academicのいずれかの「スコアレポート(原本)」(得点は問わない、出願締切日から遡って2年以内のものに限る) ※いずれもオンラインテストは受付不可。 ※TOEFLは「Test Taker Score Report」(郵送による受験者用控えスコア)の原本のみ提出可。 ※TOEICは公開テストの「Official Score Certificate」(公式認定証)の原本のみ提出可(TOEIC IPは不可)。 ※IELTSは「Test Report Form」(公式成績証明書)の原本のみ提出可。	

研究科名		博士後期課程	外国人特別研修生
社会科学研究科	入学時期	2026年9月または2027年4月	
	出願期間 (オンライン)	2025年10月20日(月) 10:00 ~ 11月14日(金) 17:00	
	出願期間 (書類郵送受付期間)	2025年11月4日(火) ~ 11月14日(金) 【国内・国外ともに締切日必着】	
	出願前の 教員コンタクト	事前にメール等で連絡のうえ(メールアドレス admissions-socs@list.waseda.jp)、中国 C S C 奨学生候補者であること、および志望する研究指導教員を明記のうえ、社会科学研究科宛てに、以下の書類を送付し、事前審査を受けることが強く望まれる。なお、事前審査を経ずに出願した場合は、受入れの可能性が低くなるがあるので注意すること。 ①履歴書、②成績証明書(大学・大学院の両方)、③修士論文の概要書、④詳細な研究計画書、⑤語学能力に関する証明書(下欄の語学要件に示す日本語能力に関する証明) ＜研究指導担当教員の調べ方＞ 研究者データベースで調べる。 研究者データベース: https://w-rdb.waseda.jp/search?m=home&l=ja 社会科学研究科ホームページで調べる。 http://www.waseda.jp/fsss/gsss/applicants/research-content/	
	選考方法	書類審査。必要に応じて「面接試験」(WEB会議システム等を利用)を実施する場合があります。	
	その他	最終結果発表は、2026年1月中に行います。	
	出願書類(共通)	「中国国家建設高水準大学公費派遣研究生受入制度募集要項」のP.4～5を参照ください。	
	出願書類 (研究科別)	＜修士論文＞ 写し1部 ＜修士論文の概要書＞ 1部 日本語2,000字程度 ＜博士論文の研究計画書＞ 1部 日本語4,000字程度(タイトル、参考文献、注を含める) なお、修士課程修了見込みの者で、出願時に修士論文を提出できない場合は、以下の3点の資料を提出すること。 ＜修士論文執筆計画書＞ 1部 日本語。特に字数の指定は設けない。 ＜修士論文中間報告会レジュメ＞ 1部 日本語。中間報告会を実施していない場合は省略可。 ＜博士論文の研究計画書＞ 1部 日本語4,000字程度(タイトル、参考文献、注を含める)	
	語学要件	日本語能力証明書 原則として、以下のいずれかの書類を提出すること ①日本語能力試験1級/N1または2級/N2の合否結果通知書または認定結果及び成績に関する証明書のコピー ②日本留学試験「日本語科目」の成績通知書(コピーでも可) ③上記①②を受験していない場合のみ、大学等の日本語担当の先生からの評価書を提出すること。 なお、指導教員によっては、日本語能力の他に、TOEFL、TOEIC、IELTS等のスコアカードの提出を求める場合があります。(提出が必要になる場合、オンライン受験のスコアは認められません。また、TOEIC IPは認められません。)	

研究科名		博士後期課程	外国人特別研修生
スポーツ科学研究科	入学時期	2026年9月または2027年4月	
	出願期間 (オンライン)	2025年10月20日(月) 10:00 ~ 11月14日(金) 17:00	
	出願期間 (書類郵送受付期間)	2025年11月4日(火) ~ 11月14日(金) 【国内・国外ともに締切日必着】	
	出願前の 教員コンタクト	出願の際には、自分の希望する研究指導の担当教員と事前に連絡をとり、研究計画等についての相談、及び受験の承諾を得ることが必要です。希望する担当教員へ直接メールをお送りください。コンタクト方法はスポーツ科学研究科のWebサイト (https://www.waseda.jp/fsps/gsps/applicants/admissions/) をご参照ください。	
	選考方法	第一次選考「書類審査」および第二次選考「面接試験」(WEB会議システム等を利用)	
	出願書類(共通)	「中国国家建設高水準大学公費派遣研究生受入制度募集要項」のP.4~5を参照ください。	
	出願書類 (研究科別)	<修士論文の概要書> 1部(日本語の場合は2,000字程度、英語の場合は1,000語程度、Microsoft -Word等による作成可) <博士論文の研究計画書> 1部(日本語の場合は4,000字程度、英語の場合は2,000語程度、Microsoft -Word等による作成可)	
	語学要件	語学要件：希望する言語により、提出物が異なります。 【日本語での指導を希望する場合】 下記1~3のうち、1つ以上の証明書類、 および4を提出してください。 1. 日本語能力試験1級/N1合格証明書 2. 日本語能力試験2級/N2合格証明書 3. 日本留学試験「日本語」の成績通知書 4. TOEFL iBT・TOEIC L&R・IELTS(Academic)何らかのスコアレポート原本(コピー不可、出願締切日から遡って2年以内のものに限る) -TOEIC(IP)は不可 -オンライン受験は認めない 【英語での指導を希望する場合】 TOEFL iBT 80以上またはIELTS(Academic) 6.0以上のスコアレポート原本(コピー不可、出願締切日から遡って2年以内のものに限る) -オンライン受験は認めない	

研究科名		博士後期課程	外国人特別研修生
国際コミュニケーション 研究科	入学時期	2026年9月	
	出願期間 (オンライン)	2025年10月20日（月）10:00 ～ 11月14日（金）17:00	
	出願期間 (書類郵送受付期間)	2025年11月4日（火）～11月14日（金）【国内・国外ともに締切日必着】	
	出願前の 教員コンタクト	不要	
	選考方法	・書類審査 ・インタビュー（対象者のみ、オンラインでインタビューを実施します。インタビューを実施する場合、詳細は1月上旬頃に対象者に連絡します。） ・1次選考のみ（2次選考は行いません。）	
	その他	国際コミュニケーション研究科の最終結果発表は、2026年1月下旬に行います。	
	出願書類（共通）	「中国国建設高水準大学公費派遣研究生受入制度募集要項」のP.4～5を参照ください。	
	出願書類 (研究科別)	<修士論文又はリサーチペーパー> ・英語による修士論文作成が修士課程修了の要件だった場合 ⇒ 修士論文の写しを提出してください。 ・以下の条件のいずれかに当てはまる場合 ① 修士論文を英語以外の言語で作成した場合 ② 修士論文が未完成の場合 ③ 修士論文の作成が修士課程修了の要件ではなかった場合 ⇒ 自身の研究テーマに沿って作成した英語のリサーチペーパー（5000ワード程度）を提出してください。 <Outline of the Master's Thesis (Research Paper)> <Research Plan> <Statement of Purpose> <Other Evidence of Research（*提出は任意）> 所定用紙を以下のウェブサイト"The Special Admission for Postgraduate Study Abroad Program by China Scholarship Council" 欄よりダウンロードしてください。 詳細は各所定用紙を確認してください。 https://www.waseda.jp/fire/gsiccs/en/applicants/doctoral/	
	語学要件	出願時に以下の英語能力試験結果を一つ提出すること。 1) TOEFL(iBT): Official Score Report, 2) IELTS (Academic): Test Report Form ・出願期間最終日から2年以内に受験したスコアを有効とみなします。 ・原則としてテストセンターで受験したスコアを提出してください。 Note1): TOEFL(iBT) Home Edition, TOEFL(iBT) Paper Edition, TOEFL ITP and TOEFL MyBest Score は認められません。 Note2): IELTS Indicator, IELTS Online and IELTS One Skill Retake は認められません。 本試験には英語能力試験における合格最低点や必須スコアはありませんが、参考値としてのスコアを公開しています。 https://www.waseda.jp/fire/gsiccs/assets/uploads/2024/01/English-Proficiency-Test-Scores.pdf	

(2) 直接出願を受け付ける研究科

研究科名	博士後期課程		外国人特別研修生
アジア太平洋研究科	入学時期	2026年9月	
	出願期間 (オンライン)	2025年9月29日(月)～10月3日(金)	
	出願前の 教員コンタクト	不要	
	選考方法	第一次選考（書類選考）および第二次選考（オンラインによる面接）により合否判定を行う。 第一次選考（書類選考）合格者のみが第二次選考の対象となる。	第一次選考（書類選考）のみで合否判定を行う。
	出願書類	所定の提出書類を用いて出願すること。※詳細については、当研究科WebサイトにアップロードされているCSC用の入試要項をご確認ください。 (日本語WEBサイト) https://www.waseda.jp/fire/gsaps/admissions/scholarship-admission#anc_15 (英語WEBサイト) https://www.waseda.jp/fire/gsaps/en/admissions/scholarship-admission#anc_15	
語学要件	●入学試験/論文の使用言語に日本語を希望する場合：以下のいずれかの語学能力証明書類を提出 ・日本語能力試験（JLPT）N1（または一級） ・日本留学試験（EJU）「日本語」科目 ●入学試験/論文の使用言語に英語を希望する場合：以下のいずれかの語学能力証明書類を提出 ・TOEFL（iBT、ITP） ・TOEIC（Listening & Reading Test, IP） ・IELTS（Academic） -最低スコアの要件なし -オンラインテストのスコアは不可		

研究科名		博士後期課程	外国人特別研修生
情報生産システム研究科	入学時期	2026年9月	外国人特別研修生は募集しません。
	出願期間	【国内出願】 11月実施入試・・・2025年9月29日（月）～10月10日（金） 【国外出願】 2月実施入試・・・2025年12月8日（月）～12月19日（金）	
	出願前の 教員コンタクト	必要	
	選考方法	【国内出願】 書類選考、面接 【国外出願】 書類選考	
	出願書類	【国内出願・国外出願】 本研究科WEBサイト参照 https://www.waseda.jp/fsci/gips/applicants/admission/ （日本語版） https://www.waseda.jp/fsci/gips/en/applicants/admission/ （英語版）	
	語学要件	TOEIC L&R、TOEFL-iBT、IELTS Academicのいずれかの英語能力証明書（スコアレポート）を提出してください。（点数の制限はありません。） a. 試験実施団体から当研究科への直送を原則とします。ただし、国外受験等により直送対象外の場合は、他出願書類と同封の上、当研究科まで英語能力証明書（原本）を郵送してください。 b. 受験時から2年以内のものを提出してください。 c. TOEIC（IP）は受付不可 d. 自宅等から受験可能な試験（TOEFL iBT Home Edition, TOEFL iBT Paper Edition, IELTS Online 等）は原則として不可。 f. 母国語が英語の場合、英語圏の大学を卒業された場合、学位の取得（見込み含む）時に全科目が英語のみで指導されていた場合は当書類の提出は不要です。前者の場合は該当事項を説明するメモ、後者の場合は該当事項を証明する書類を出願書類に同封してください。 日本語能力に関する資格証明書をお持ちの場合はその原本も提出してください。	
研究科名		博士後期課程	外国人特別研修生
環境・エネルギー研究科	入学時期	2026年9月または2027年4月	
	出願期間	2025年11月4日（火）～11月14日（金） ※国内は締切日消印有効、国外は締切日必着	
	出願前の 教員コンタクト	必要：以下のアドレスに所属大学、氏名、希望教員名を明記の上、研究計画書（MS Word形式ファイル1枚程度）を送付すること。 weee-ent@list.waseda.jp （事前連絡締切：2025年10月20日（月）） （出願の可否を事前に確認するためであり、正式な受入内諾を求めるものではない）	
	選考方法	書類審査	
	出願書類	1)志願票、2)履歴書、3)卒業(修了)証明書および学位取得証明書（原本）、Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate および Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate（中国の教育機関を卒業した者）、Online Verification Report of Student Record（中国の教育機関を卒業見込の者）、4)在学証明書（原本、該当者のみ）、5)成績証明書（原本）、6)活動実績概要書、7)研究業績報告書、8)志望理由および自己アピール書、9)研究活動計画概要書、10)語学能力に関する証明書（原本）、11)推薦書（原本）、12)学術論文および学会講演発表等の抜刷り、各種制作物等のリスト、13) パスポートのコピー *1)、2)、6)、7)、8)、9)、11)の所定用紙は研究科HPからダウンロードして使用のこと。 当研究科WEBサイト： https://www.waseda.jp/fsci/gweee/applicants/admission/	
	語学要件	TOEIC L&R、TOEFL-iBT、IELTS Academicのいずれかの英語能力証明書（スコアレポート）を提出してください。（点数の制限はありません。） a. 試験実施団体から当研究科への直送を原則とします。ただし、国外受験等により直送対象外の場合は、他出願書類と同封の上、当研究科まで英語能力証明書（原本）を郵送してください。 b. 受験時から2年以内のものを提出してください。 c. TOEIC（IP）は受付不可 d. 自宅等から受験可能な試験（TOEFL iBT Home Edition, TOEFL iBT Paper Edition, IELTS Online 等）は原則として不可。	